

**JB**  
1735  
**BLANCPAIN**  
MANUFACTURE DE HAUTE HORLOGERIE

お客様の時計

カルーセル ミニッツリピーター フライバック クロノグラフ センター  
に30分計 カテドラルゴング 自動巻腕時計  
キャリバー 2358、65時間パワーリザーブ



2358

リュウズは2段階です:

**位置A**、巻き上げる場合のリュウズ位置です。

**位置B**、時刻をセットする場合の、引き出したリュウズ位置で、時、分の修正が可能です。

時刻のセットは、それぞれの針の表示と時打ち機構が確実に一致するよう、時計回りで行ってください。

反時計回りにセットする場合は、針を正確な時刻まで戻してから、さらに1時間逆に回し、最後に希望する時刻に戻してください。

この操作は、時刻設定システムの調整のため、分針の表示と時打ち機構の表示との間のズレを避けるために必要です。

時刻をセットした後は、リュウズを位置Aまで戻してください。

ミニッツリピータースライドレバー:

- スライドレバーを12時方向に押すとミニッツリピーターが作動し、1時間、15分、1分ごとにチャイムを奏で、時刻を知らせます。
- スライドレバーによる音の鳴り方は、表示されている時刻によって変わります。

**重要**

時計がチャイムを奏でている間、ムーブメントを保護し、パーツが破損するのを避けるために、時計が時を打つ間に針を動かした場合は、切断レバーが作動して、パーツを所定の位置に保持します。また、時打ちが終了するまで、とりわけ、時打ち機構の輪列が完全に巻き戻されるまで待ってから、スライドレバーを再度操作することも大切です。

クロノグラフの使い方:

プッシュボタン**1**は、クロノグラフ針、30分計をスタートさせます。クロノグラフ機能は、このボタンを2度目に押すと止まり、もう1度押すと再び動き始めます。

プッシュボタン**2**は、クロノグラフ針、30分計をリセットします。クロノグラフ針が動いている時でも、このプッシュボタンでフライバック機能を作動させることができます。

フライバック機能:

クロノグラフ (プッシュボタン**2**) をリセットし、瞬時に計時を再スタートすることができます。したがって、ストップ、リセット、再スタートさせる必要なく、連続して計時することが可能です。

## プランパンの両用工具

1. フッシュピン
2. 三つ折式フォールディング・バックル（セーフティロック付）用ネジ回し。

この工具の先端（チップ）は取り外し式になっています。最初の状態では、三つ折式フォールディング・バックル（セーフティロック付）を調整するためのネジ回しとして使用することができます（ストラップの長さの調節については44ページをご参照ください）。

さらにこの工具は、カレンダー調整を行うためのフッシュピンとして使うこともできます。そのためには溝に指先を入れてチップを引き出し、柄から取り外します。次にチップの前後を逆にして（先端にボールが埋まっている側を外に向けて）、軽く回しながら柄に押し込んで固定します。



## 三つ折式フォールディング・バックル（セーフティロック式）

フォールディング・バックルには、特別に作られたブランパンの革ストラップのみが用いられます。安全性と快適性が保証されるよう、新しいバックルはブランパンの正規代理店にて取り付けてもらうことをお勧めします。ストラップの長さはいつでもご自分で変更することができます。



### 開ける:

留め具を開けるには、側面のプッシュボタンを押してカバーを持ち上げてください(図1)。さらにもう一方を持ち上げて開きます(図2)。



図1



図2

### 閉じる:

腕時計を腕に通します。12時側のストラップを元の位置に戻し、親指で押さえながら閉じます(図3)。6時側のストラップも同様にして閉じます(図4)。



図3



図4

### 長さの調節:

時計に付属している工具を使ってネジを緩めます(図5)。



図5

バックルにストラップを通し、希望する穴に雌ネジを差し込みます(図6)。雌ネジにネジを取り付け、付属の工具を使って締め付けます。(図7-8)。



図6



図7



図8